

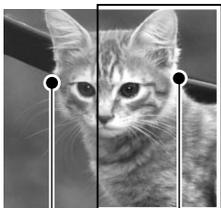
インクジェット写真用紙 塗って保護シート

JP-G01/02

この度は、サンワサプライの「インクジェット用紙塗って保護シート」をご購入いただき、誠にありがとうございます。この商品はインクジェットプリンタで印刷した画像を変色や退色から守るための保護剤を、塗りやすいウエットタイプにしたものです。なお、この塗って保護シートが使える用紙と使えない用紙がありますので、下記をご確認の上ご使用ください。また、この商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

塗って保護シートのキレイ効果

①メリハリがついてキレイ!

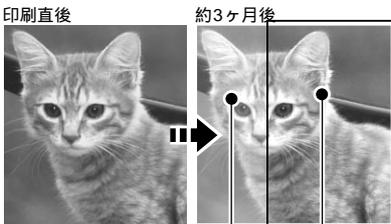


塗ってないところ 塗ったところ
塗った部分の濃度がアップ! 写真にメリハリがでて、さらにキレイ!

黒が5 - 40%、マゼンタ(赤)が5 - 20%濃度アップ。(サンワサプライ製用紙において)

プリンタの純正の用紙は元々画像濃度が高いのでこれほどまでは濃度がありません。

②キレイが長持ち!



印刷直後 約3ヶ月後
塗ってないところ 塗ったところ

空気中のガス(オゾンなど)による変色・退色を防ぎ、画像の濃度低下を2 - 5倍遅くします。(サンワサプライ製用紙において)

UVカット剤は入っておりませんので、野外や直射日光の当たる場所では効果が充分に発揮されないことがあります。印刷紙ベースの用紙/フィルムベースの用紙に特に効果があります。(シアン・青及び黒色、グレー色について)

プリンタ純正の用紙の濃度低下については、約2倍遅くなどお考えください。変色の仕方については、ご使用のプリンタ、環境により異なります。

使用できる用紙・できない用紙

使用できる用紙

写真用紙(印画紙ベース)、フォト光沢紙、光沢フィルムのみ

対応確認用紙

エ プ ソ ン : PM写真用紙・PM/MC写真用紙・光沢フィルム、

キ ャ ノ ン : プロフォトペーパー(PR-101)スーパーフォトペーパー(SP-101)フォト光沢フィルム(HG-201)、

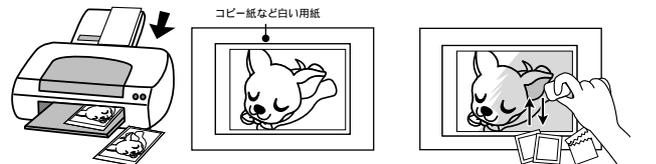
サンワサプライ: 写真印画紙(JP-DP-PPPシリーズ) フォト光沢フィルム/ラベル(JP-KF10AN/TA 04FN) フォト光沢紙/厚紙(JP-UGKシリーズ) フォト光沢紙(JP-K-KCシリーズ) JP-PSシリーズには十分な効果がありません。

使用できない用紙

・マットタイプの用紙(使用されても十分な効果が得られません)

・顔料系インクで印刷した光沢紙(インクがはがれてしまいます)

使用方法



- 1 インクジェットで出力した用紙を重ねないで、1時間以上放置し、乾燥させてください。(速乾タイプの用紙でも十分に乾燥させてください。)
- 2 机などが汚れない様、用紙よりひとまわり大きいコピー紙など白い紙を用紙の下に敷いておいてください。
- 3 「塗って保護シート」を袋から取り出し、用紙の表面に傷をつけないよう保護剤をそっと塗ります。
・**ご注意**
・肌の弱い人は、ゴム手袋をはめてお使いください。



- 4 ムラができないよう、何度か重ね塗りします。
1度を使い切ってください。
「塗って保護シート」1枚でA4サイズの用紙1枚、ハガキ・L判サイズの用紙4、5枚に保護剤を塗ることができます。
- 5 乾燥させて出来上がりです。アルバムなどに入れるときは、保護剤を塗った用紙を重ねないように、1時間以上乾燥させてください。
- 6 ご使用後は石けんとで、すぐに必ず手をキレイに洗ってください。

使用上の注意

各プリンタ、各機種、各印刷用紙によって、またインクの各色によって色落ちの速度が違いため全体の色調が変わる可能性がありますので、ご注意ください。

この保護剤によって、色あせ、変色の速度を遅らせることはできますが、環境によりその効果は異なり、完全なものではないので、重要な書類などには使用しないでください。

湿度が90%RHを超えるところに保管しないでください。もし、水等が付着してその跡がいたら、もう一度保護剤を塗ることで元通りになります。直射日光の当たる場所では効果が十分に発揮できない場合がございます。直射日光の当たる場所での使用にあたっては、UVカット剤入りのラミネートシールを使用されることをおすすめします。

(弊社製 UVカットフィルム JP-UVA4 など)
顔料系プリンタには適応できません。

ラベルなど糊がついた商品については、糊に保護剤がつかないように、気を付けて塗ってください。

取り扱い上の注意

火気にご注意ください。
日当たりの場所や高温になるところに置かないでください。
使用後は必ず直ぐに水と石けんで手を十分に洗い、手に十分に保護剤を流してください。
手袋をご使用いただくことをお勧めします。
手に炎症などの異常が現れた場合にはご使用をおやめください。
子供の手の届かないところへ保管してください。
床、机等に保護剤入りの液を落とした場合、滑り事故が起こる可能性が高いので、洗剤を含ませた水できれいに拭き取ってください。
廃棄の際は地域のゴミ処理方法に従って廃棄してください。

応急処置

万一口に入れたり飲み込んだ場合は吐かせて直ちに医師の診断を受けてください。
誤って目に入った場合は、清水で十分に洗い流してください。